



# つなぐ 連町通信

安全で安心して暮らせるまちづくりをめざして

発行  
釧路市連合町内会

〒085-8505 釧路市黒金町7丁目5番地  
釧路市役所内  
電話 0154-23-5151  
内線 6716  
直通電話・Fax 0154-23-2101

## ～～理事研修会報告（蝦名市長に講師をお願いしました）～～

理事研修会を11月6日（火）に行いました。講師は蝦名市長で、「釧路市の展望～つながる まち・ひと・みらい～」について、語っていただきました。

### 一緒に進める街づくり



熱心に語る蝦名市長

冒頭、蝦名市長から30代半ばの頃に鶴ヶ岱地区連会長として理事会にも参加していた経験を踏まえ、町内会役員の皆さんの献身的な取り組みに感謝する、と挨拶がありました。

次に市政における財政運営について、大変厳しい現状を踏まえつつ、起債する場合には国の支援制度を取り入れて、市に納められる税金での返済額が少なくなるように工夫しており、市の防災庁舎建設にあってもいち早く国の動向を掴み、国の支援の枠を多くいただく事ができたということが紹介されました。こうした財政運営を継続するとともに、都合の悪いことも含めて、市民とあらゆる情報を共有して一緒に進めていくのが本来のまちづくりだろうと話されました。

### 講演資料から

事前に用意されていた資料を用いた講演では、「釧路市の課題」として人口推移のグラフから、進学や就職を迎える世代で人口が減っている点を示し、その対策をしっかりとすることが大切であるので、「釧路市まちづくり基本構想」をまとめたと紹介がありました。

この構想の中で、持続可能な『みらい』に向けて、『まち』『ひと』のつながりを強め、地域の力を結集するための理念である「域内連関」を上位に位置付け、5つのまちづくり基本方針を示していることが説明されました。

少子化による課題については、町内会の果たす役割も大いにあると感じました。



講演を聞く理事研修会参加メンバー



### 西村会長、全国自治会連合会会長表彰受賞！

西村会長は、住民自治組織の発展向上について特に著しい功績があった方などに贈られる全国自治会連合会会長表彰を11月14日（水）に東京メルパルクホールで受賞されました。（北海道町内会連合会から推薦されていました。）

# 各種研修会報告!!

冒頭に紹介した理事研修会のほかにも、連合町内会にあっては研修の秋として様々な研修会が続きました。研修を受けた町内会長さんから徐々に、それぞれの町内会で研修の一端が披露されるのではないのでしょうか!

開催された各種研修会の内容を開催日順に紹介します。

## 道東ブロック町内会活動研究大会

9月19日(水)・20日(木)に根室市において開催され、32市町村から218人(釧路市7人)が参加しました。

講演ではNPO法人シーズネットの理事杉谷憲昭氏から「地域の絆と支え合い～誰もが安心して暮らすためには～」と題し、サロン活動など町内会で進められている事例が紹介されました。

講演後は3つの分科会に分かれ、第1分科会ではサロン活動の報告を受けて福祉活動について、第2分科会では自主防災会活動の報告を受けて防災活動について、第3分科会では町内会の班長がみんな副会長になるという事例報告を受けて役員育成について、それぞれ意見交換が行われました。

## 女性の集い

10月16日(火)に交流プラザさいわいで開催され、各町内会の女性部の皆さんを中心に56人が参加しました。

講師は釧路市福祉部介護高齢課の久万田課長で、「高齢者向け各種施設への入所実態等について」と題し、介護保険制度の概要や高齢者向け施設の種類・施設数、そして特別養護老人ホームの入所優先判定基準について説明がありました。



質問に答える久万田課長

ご本人又はご家族で具体的な相談が必要な場合は、介護高齢課か地域包括支援センターにお問合わせくださいと案内がありました。

\*施設の種類のほかです。違いがわかりますか?

(介護サービスを自ら提供する施設)

介護付き有料老人ホーム、特別養護老人ホーム、老健施設、認知症高齢者グループホーム(外部からの介護サービスを利用する施設)

住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅

## 道東都市町内会長大会

10月25日(木)・26日(金)に北見市において開催され、道東の6市から215人(釧路市17人)の参加がありました。

大会では「支え合い、安全に安心して暮らせるまちづくり」というテーマのもと、昭和中央4丁目町内会佐川会長他5人が事例発表を行い、情報交換がもたらされました。



事例発表中の佐川会長

また、青少年の健全育成を積極的に推進することや、交通安全の推進など安全で安心な地域づくりを積極的に推進することなど6項目についてなお一層の努力をすることと、関係する省庁、地方自治体に適切な配慮を強く要望する大会決議を行いました。

## 釧路管内町内会連絡協議会研修交流会

11月8日(木)・9日(金)に釧路センチュリーキャッスルホテルにおいて開催され、釧路管内の8市町村から84人(釧路市30人)の参加がありました。

大会では釧路警察署生活安全課生活安全



質問に答える吉村氏(左)と平藤氏(右)

係長吉村公孝氏から「特殊詐欺の現状について」と題し、釧路市でも起きた電話による詐欺事例の注意喚起がなされ、近所から被害者がでないための声かけや、警察への相談の呼びかけがありました。

また休憩をはさみ、釧路警察署交通第一課交通企画係長平藤弘樹氏から交通ルールの各種規制が随時見直されているので、講習時の読本はしっかり読んで欲しいというお願いと、DVDを用いて、着ている服の色による人影の見え方の違いや夕暮れ時に交通事故が多いなどの説明があり、身近なところでの事故防止が呼びかけられました。

## 秋の自主清掃 ありがとうございます



10月13日(土)から10月21日(日)を「秋の自主清掃」期間として清掃活動に取り組み、151町内会、4,587人のご協力を頂きました。おかげ様で町内会にある道路、公園がきれいになりました。ご協力ありがとうございました。



わが街この街  
シリーズ 80

### ～「子供花火大会」を実施～

鳥取南八丁目町内会長 魚田喜由

今年は8月18日に役員と班長さんの協力の下、天候の心配もなく「子供花火大会」を実施し、36名の子供と親の参加があった。

花火大会は、例年夏休みの最終日に公宅前の広場で行っており、前もって参加申込みを取り、事前配布の「花火大会引換券」で紙袋一杯に入ったおやつと交換する。

この日、陽が沈みかけた6時半頃より待ちに待った花火打ち上げがスタートすると、子供達の歓声が上がる。中間には線香花火が配られ、最初少し怖がっていた子供達も皆楽しんでやっていた。

第二部で再び打上げ花火がスタートした。終り頃には親子の歓声や笑顔が増し、今年

もやって良かったと実感した。

今でこそ我々も慣れてきたが、打ち上げた火の粉で髪の毛がチリチリになったり、服を穴だらけにしたこともあった。でも、子供達の笑顔が見たくて、又、私達役員も結構楽しんで続けている。

これが我が町内会の「子供花火大会」だ。



子供花火大会の様子

1. 元気で働き、明るく豊かなまちをつくりましょう。
1. きまりを守り、安全で安心な住みよいまちをつくりましょう。
1. 緑を育て、自然豊かなきれいなまちをつくりましょう。

1. 人にやさしく、心ふれあう温かいまちをつくりましょう。
1. 文化を高め、命を尊ぶ平和なまちをつくりましょう。
1. 郷土を愛し、世界に誇れるまちをつくりましょう。

みんなでつろう ゴミのないまち きれいなふるさと

第4回 理事会報告

第4回理事会が11月6日(火)に開催されました。協議事項は次のとおりです。

【報告事項】加入促進活動、町内会活動研修大会、秋の自主清掃、「女性の集い」などが報告されました。

【協議・連絡事項】青少年健全育成大会(11/18)、三者懇談会(11/21)、新年交礼会(1/18)、子どもかるた大会(2/24)など事業予定の審議や、環境美化事業の実施報告書の提出(12/3 締切)・環境美化事業活動費交付(12/10~12/14に地区連に交付。)についての事務連絡がありました。

市連町新年交礼会のご案内

- ◇日時：平成31年1月18日(金)18:00~
- ◇会場：釧路センチュリーキャッスルホテル
- ◇会費：4,000円
- ◇申込：会費を添えて、12月26日(水)まで。

一除雪について5つのお願い一

~釧路市道路維持事業所からのお知らせ~

- ① 道路への雪出し禁止!
- ② 除雪後に残った玄関・車庫前の雪の処理はご家庭で!
- ③ 路上駐車はやめてください!
- ④ 歩道上に物を置かないでください!
- ⑤ 深夜の除雪作業にご理解を!

除雪は皆さんのご協力が必要です。ルールを守り、住みよいまちづくりを進めましょう

<<事業所等からの町内会応援宣言>>

前回の紹介以降、次の事業所の皆さんから応援宣言いただきました。

たにぐち薬局、(株)トーテック

※この欄では、「私たちは町内活動を応援します」というアンケートに答えていただいた団体・事業所等を紹介しています。

明日 今日  
この考え方は、日本ではまだ根強いものがありますね。皆さんの中にも、妻がしっかりと家庭を守っているから、夫が安心して仕事に打ち込むことができ、経済的にも精神的にも充実した人生を送ることができていると考える方が多いのではないのでしょうか。それは男性が働いた方が、高収入が得られるといった社会情勢・経済情勢が根本にあるのか、昔からの役割分担の観念からくるものなのか解明しきれないところがありますね。でも実際に平成29年の総務省における調

「男は仕事、女は家庭」は悪しき慣習？  
釧路市男女平等参画推進参事 前田千加子

調査では「非正規雇用労働者の割合は」女性で55.5%に対し、男性は21.9%という結果が出ています。女性は半分以上が非正規雇用という事です。家庭に入り子育てが一段落して、再就職を希望した場合、ライフスタイルに

整備されていないこと、女性が働くことに未だに協力的ではないこと、などが要因と考えられますね。家庭の中に社会とのつながりを取り入れ、「ふくらみ」をもたせることは、子育てを含めた家庭生活に良い影響を与えられるものです。いつもどちらか一方だけが我慢していると感じてしまうことはストレスの原因にもなり望ましくありませんね。お互いを理解し、尊重し、協力することで、慣習として引き継がれてきた「男は仕事、女は家庭」という意識をちよつとだけ改革しませんか。お互いの「大変さ」を経験することから始めてみましょう。

主な行事予定

- 12月27日(木) 三役会
  - 1月13日(日) 防災講演会
  - 1月18日(金) 新年交礼会(12/26 締切)
- ※次回の連町通信は、12月26日発行です。

赤い羽根共同募金

連町通信は、赤い羽根共同募金の支援を受けて発行しています。